

里海創生のための沿岸海域の環境保全

研究代表者：橋本俊也（広島大学大学院生物圏科学研究科）

所内世話人：柳 哲雄

日時：2012年12月 5日（水）12：50～2012年12月 6日（木）11：50

場所：九州大学応用力学研究所西棟6階 多目的研究交流室 W601

開催趣旨：人間活動と密接な関係のある沿岸海域の保全のためには、物質循環過程を明らかにすることが重要である。柳哲雄教授が提唱した「里海」の重要な構成体として藻場・干潟を含めた沿岸海域は、物質循環機構と生物生産という役割のみならず、市民の憩いや環境学習などの役割をもっている。このような「里海」としての沿岸海域の環境保全と再生の重要性を明らかにするため、関係研究者のこれまでの研究成果を発表してもらい、活発な討論を行う。

第1日 2012年12月 5日（水）

趣旨説明（12：50－13：00） 研究代表者、所内世話人

座長 林 美鶴（神戸大学内海域環境教育研究センター）

- | | |
|---|-------------|
| 01. 瀬戸内海のリン・窒素の起源 田中 剛・柳 哲雄（九大応力研） | 13:00-13:20 |
| 02. 大潮と小潮に伴う潮汐フロントと底部冷水の動き：観測結果 石丸梨香・郭 新宇・堤 英輔・吉江直樹・武岡英隆（愛媛大 CMES） | 13:20-13:40 |
| 03. 大潮と小潮に伴う潮汐フロントと底部冷水の動き：モデル結果 郭 新宇・于 晓杰・武岡英隆（愛媛大 CMES） | 13:40-14:00 |
| 04. 潮汐フロント周辺での GPS ラジオゾンデ観測：盛夏と初秋の比較 中川美和・郭 新宇・堤 英輔・眞野 能・吉江直樹・武岡英隆（愛媛大 CMES） | 14:00-14:20 |
| 05. アマモ場海域における窒素・リンの収支 一見和彦（香川大瀬戸内研セ庵治）・上里友子・多田邦尚（香川大農） | 14:20-14:40 |

休憩（10分）

座長 多田邦尚（香川大学農学部）

- | | |
|--|-------------|
| 06. 豊後水道における夏季の栄養塩分布と植物群集組成 吉江直樹・坂本航平・中川美和・新田 徹・高部由季・堤 英輔（愛媛大 CMES） | 14:50-15:10 |
| 07. 淀川河口域における植物プランクトン種の変動解析 木村桃子（神戸大院海事科学）・林 美鶴（神戸大内海域環境教育研究センター） | 15:10-15:30 |
| 08. 淀川感潮域における有毒赤潮に関する研究 古賀竜太郎 ¹ ・林 美鶴 ² ・藤井智康 ³ ・山本圭吾 ⁴ (1 神戸大院海事科学, 2 神戸大内海域環境教育研究センター, 3 奈良教育大, 4 大阪府水産技術センター) | 15:30-15:50 |

09. 河口干潟域における環境の変化が二枚貝の炭素・窒素安定同位体比に及ぼす影響 15:50-16:10
 児玉真史 (中央水研)・渡部諭史 (JIRCAS)・八木 宏 (水工研)・灘岡和夫 (東工大)
 内川直洋 (横浜技調)・古殿太郎 (いであ)・唐木毅 (三洋テクノマリン)
10. Estimation of phosphorus retention in coastal area, using comparative methods of mass
 balance model and sediment core profile data 16:10-16:30
 Jin Guangzhe¹, Onodera Shin-ichi¹, Saito Mitsuyo², Yuta Shimizu¹, Amano Atsuko³
 1 Graduate School of Integrated Arts and Sciences, Hiroshima University
 2 JSPS PD, Center for Marine Environmental Studies, Ehime University
 3 Marine Geology research Group Institute of geology and Geoinformation Geological Survey of Japan , AIST

第2日 2012年12月 6日 (木)

座長 橋本俊也 (広大院生物圏)

11. 沿岸海域における珪藻細胞のSi 溶出とN・P 分解 09:20-09:40
 多田邦尚¹・鹿摩賢士¹・橘 睦朗¹・一見和彦²・山口一岩¹
 (1 香川大学農学部, 2 香川大学瀬戸内圏研究センター)
12. 播磨灘表層堆積物中の有機物量の現在と過去の比較 09:40-10:00
 山口一岩¹・平出直人¹・香山未歩¹・一見和彦²・多田邦尚¹
 (1 香川大学農学部, 2 香川大学瀬戸内圏研究センター)
13. 有明海における根口クラゲ類の表層分布 10:00-10:20
 藤井直紀・吉野健児・伊藤祐二・片野俊也・濱田孝治・速水祐一
 (佐賀大学低平地沿岸海域研究センター)
14. 伊予灘・豊後水道における乱流観測 10:20-10:40
 堤 英輔・郭 新宇・吉江直樹・武岡英隆 (愛媛大 CMES)・
 松野 健 (九大応力研)・李 根淙 (九大院総理工)・上 真一・真壁竜介 (広大院生物圏)

休憩 (10分)

15. 海水再循環の栄養塩供給に及ぼす影響—トレーサー収支に基づく推定— 10:50-11:10
 吉川昌志¹・小野寺真一¹・斉藤光代²・大西晃輝¹・清水裕太¹
 (1 広大院総合科学研究科, 2 愛媛大 CMES)
16. 大和川感潮域の栄養塩動態 11:10-11:30
 小野寺真一¹・斉藤光代²・清水裕太¹・大西晃輝¹・吉川昌志¹・日高元喜¹
 (1 広大院総合科学研究科, 2 愛媛大 CMES)
17. 燧灘南西部における地下水流出と流出成分の年齢分布—現場観測と物理流動
 モデルによる解析結果の比較— 11:30-11:50
 齋藤光代¹・王 海燕¹・郭 新宇¹・小野寺真一²・武岡英隆¹
 (1 愛媛大 CMES, 2 広大院総合科学研究科)